

プログラム

公益財団法人東京都人権啓発センターでは、令和3年度の重点課題を「新型コロナウイルス感染症と人権」と位置づけました。本シンポジウムではコロナ禍が顕在化させた様々な課題の中から特に「子ども・若者」に焦点をあて、人権教育や人権啓発の指針を探ります。

基調スピーチ（事前収録・20分） オードリー・タン 台湾デジタル担当政務委員（閣僚）

“人権尊重社会のためのデジタル・ソーシャル・イノベーションとは”

中学校を中退し10代でIT企業を設立。20代でトランスジェンダーであることを公表し、アップル社でSiri等の人工知能プロジェクト開発に携わった講師は、その経験をもとに、新型コロナウイルス感染症対策で成果を収めた台湾でその中心的役割を果たしています。マイノリティの声を社会に届け、誰一人取り残されないために、デジタル技術はどのように活かされるべきか。社会をよりよく変革していくソーシャル・イノベーションの展望を伺います。



パネルディスカッション

“社会を担う子ども・若者の人権：現状と課題”

医療従事者等の子どもに対する不当な差別や外出自粛による虐待リスクの増大、女性や若者の自殺の増加、そして、格差の拡大やリモート学習導入が若年世代の教育環境に及ぼす負の影響などが指摘されています。こうしたコロナ禍の現状をふまえながら、子ども・若者の人権が尊重される社会となるために、人権教育や人権啓発の課題を検証しこれからの展望を探ります。

【パネリスト】

【コーディネーター】



さかもと しげき
坂元 茂樹
(公財)
人権教育啓発推進センター
理事長
神戸大学名誉教授



かいだ まちこ
甲斐田 万智子
文京学院大学
外国語学部教授
認定NPO法人
国際子ども権利センター
(シーライツ)
代表理事



り ひょうしげ
李 炯植
NPO法人
Learning for All
代表理事



でぐち まきこ
出口 真紀子
上智大学外国語学部
英語学科教授



しもじ よしたか
下地 ローレンス 吉孝
ハワイ大学
マノア校客員研究員



ともつね つとむ
友常 勉
(公財)
東京都人権啓発
センター理事
東京外国語大学大学院
国際日本学研究院教授



やまだ まこと
山田 真
小児科医、
八王子中央診療所

【コメント】

会場参加のお申込み方法

定員 120 名（応募多数の場合は抽選）

●Web フォーム、メール、電話のいずれかでお申し込みください。

●Web フォーム

外部サイトへ移動します。https://forms.office.com/r/qp7d5ubHgw

●E メール

fukyu3101@tokyo-jinken.or.jp

件名に「シンポジウム申し込み」と明記のうえ、(1) 氏名 (2) 参加人数 (3) 連絡先 TEL

(4) メールアドレス（参加票をお送りします。）(5) 住所（参加票を郵送希望の場合）

●TEL 03-6722-0085（平日 9:00～17:45）

締め切り 2022 年 2 月 25 日（金）

* 個人情報は、申込み手続き以外には使用しません。

* 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のためオンライン（ライブ配信）のみの開催とする場合があります。

Web フォーム



E メール



オンライン（ライブ配信）での視聴方法（申込不要）

YouTube 公益財団法人東京都人権啓発センター公式チャンネルでライブ配信します。

※事前のチャンネル登録をお願いします（配信開始の通知が届きます）。



【情報保障について】 ※配慮（点字資料等）が必要な場合はご連絡ください。 ※会場参加で車いすスペースをご利用希望の方はご連絡ください。
※UDトーク（リアルタイム字幕配信）を実施します。

お問い合わせ：
(公財) 東京都人権啓発センター

〒105-0014 東京都港区芝 2-5-6 芝 256 スクエアビル 2F TEL 03-6722-0085
E-MAIL fukyu3101@tokyo-jinken.or.jp URL https://www.tokyo-jinken.or.jp/

(公財) 東京都人権啓発センターでは全国各地の「人権センター」の取り組みに学び、また、連携を深めることで、人権教育・人権啓発の発展に寄与したいと考えています。